

令和 6 年 6 月 7 日現在

機関番号：12102

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2018～2022

課題番号：18H05443

研究課題名（和文）西アジア都市文明論

研究課題名（英文）Consideration on the urbanization in West Asia

研究代表者

山田 重郎（Yamada, Shigeo）

筑波大学・人文社会系・教授

研究者番号：30323223

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 43,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究課題は、領域研究「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」に含まれる4つの研究項目（A01「都市文明への胎動」、A02「古代西アジア都市の景観と構造」、B01「西アジアの環境と資源」、C01「中世～現代の西アジア都市」）の総括班として6つの計画研究班による合計118回の研究会の実施をサポートし、16回の領域全体研究会を企画・実施。さらに2023年6月には3日間の国際シンポジウムを開催して「都市の本質」についての研究と議論を主導した。

また、年次報告書「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究-研究成果報告書（5巻）を各年度末に刊行した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

「都市とは何か」という問題を、最古の都市化が発生した西アジア地域に焦点をあて、先史時代から現在までの長射程で、多様な視点から考察した。本研究の多分野協働による長射程の複眼的都市研究は、特定分野からの一面的なアプローチにより分野優先的・ドグマ的な都市の定義を捻出することに満足することなく、古代から現代まであまたある都市を構成する建築学的・社会的特徴を比較格子の中に捉え、その多様な形態とその背景となる自然・歴史・政治・宗教・社会を分析し、都市の生成・変容・没落のパターンを把握することこそが、「都市の本質」を理解する正しい方法であることを明示した。

研究成果の概要（英文）：This project served as a hub interrelating the four research themes (A01 "Prelude to the urban culture"; A02 "Urban landscape and structure of the ancient West-Asian cities"; B01 "Natural environment and sources in West Asia"; C01 "West-Asian cities from the medieval to modern ages"). It supported the implementation of total 118 workshops organized by six research platforms of different disciplines, run 16 study meetings where all the research platforms were involved, and held an international symposium of three days in June 2023. Thus, it directed the study of "the essence of urban civilization" activating the discussion by all the project members and collaborators.

Moreover, it edited and published five volumes of annual reports of the studies made in and by the entire area research.

研究分野：アッシリア学（楔形文字学）

キーワード：西アジア 都市 考古学 楔形文字学 歴史学 地球科学

### 1. 研究開始当初の背景

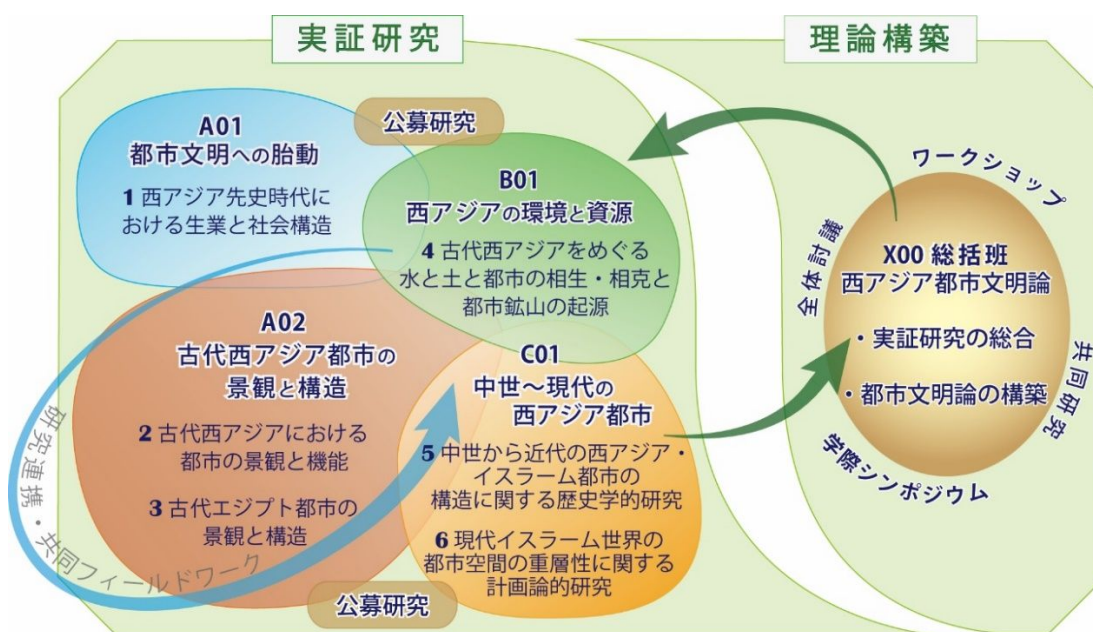
紀元前4千年紀、メソポタミア（現在のイラクから北東シリア）において人類史上初の都市が成立した。大型公共建築物と城壁を持ち、種々の職業に従事する大人口が一定のヒエラルキーのもとに統合され、周辺世界の政治と経済の核となる複雑社会がここに誕生した。このような都市文明の様式は、前3～2千年紀には、メソポタミアとその周辺の広域に拡散し、西アジア各地に多数の都市が成立した。こうして、都市が政治・経済・文化の中心としての役割を担って、地域の在り方を決定づける構造が、西アジア全域に、そして世界の諸地域に形成された。以来、都市は地球の規模で人類史を決定づけてきた。現在、世界人口70数億人の半数以上が「都市」に居住し、現代文明の抱えるあらゆる問題も、都市の存在を抜きにしては考えられない。都市の起源と本質を問うことは、優れて地球的にして現代的な課題である。

西アジアは、農耕、牧畜、冶金、文字記録、一神教、そして都市文明といった人類史に大きな影響を与えた文化的革新が地球上で最も早く生じた地域であり、西欧世界の思想的源流のひとつであるユダヤ・キリスト教文化の故地でもある。そのため、19世紀以来、欧米調査隊により多くの考古学的調査が行われ、イラク、イラン、シリア、トルコ、パレスチナを中心に何百もの都市遺跡が調査された。これらの考古学的発見を通じ、各地で都市の景観と機能が明らかにされてきた。前3500～3200年ごろの南メソポタミアに成立した都市ウルクでは、粘土板に文字を記す技術が行政運営のために発明された。その後、この書字技術は、楔形文字システムとして洗練されながら西アジア各地に伝播し、複数の言語の記述に応用された。この結果、前3千年紀から紀元前後の時代に至るまでの長期間、古代世界において出色の文字文明が西アジアにおいて繁栄した。

古代西アジアは、都市主導型の文明が地球上で最も早く高度に発達した地域であり、豊富な考古学的資料と保存性の高い媒体（粘土板）に書かれた多くの文字史料によって、都市文明の発生とその変容に関する大量のデータを提供する。人類の都市との関わりの原点であり、人類史上最古の都市文明をめぐる濃密な歴史的経験であった古代西アジア都市の諸相の解明は、都市の本質を問うために決定的な価値がある。古代西アジア都市を、民主的なギリシア都市に対する専制的オリエント都市とみる西欧の古典的・傾向的理解は批判されて久しい。しかし、西アジアにおける都市の発生と変容、都市の環境や人間社会との相互影響関係、都市景観の様相、都市の諸機能を種々の史資料に照らして実証的に解明し、現代に至るまでの都市のタイポロジーに照らして歴史的に評価する試みは、都市型社会の理解に向けた意義深い課題としてほぼ手つかずに残っていた。

### 2. 研究の目的

本研究課題「西アジア都市文明論」は、新学術領域研究「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究」に含まれる4つの研究項目（A01「都市文明への胎動」、A02「古代西アジア都市の景観と構造」、B01「西アジアの環境と資源」、C01「中世～現代の西アジア都市」）の総括班として機能する。



領域A01とA02は、前4千年紀末の南メソポタミアにおける都市の誕生に先立って、西アジア各地で都市文明に含まれる諸要素が徐々に出現していく現象を考古学的に解明し（A01）、その後メソポタミアにおける都市文明の誕生をへて、西アジアならびにエジプトにおいて進展した

3000年にわたる都市化の諸相を考古学と文献学の協働により研究する（A02）。

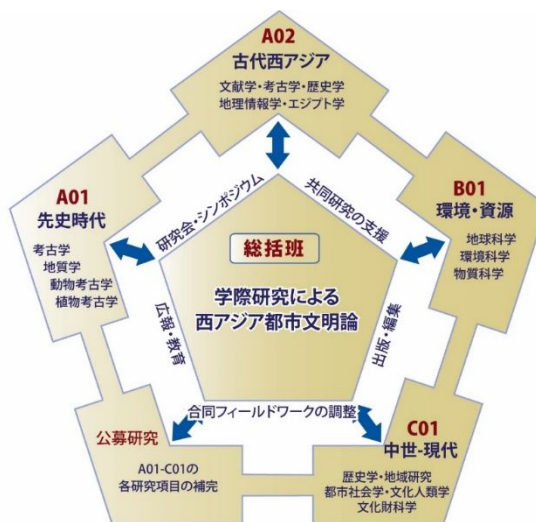
研究項目B01は、西アジア都市文明をはぐくんだ環境と資源を地球科学的・物質科学的方法で分析し、都市文明の発生と変容に環境がどのような影響を与えたのかを考究して、領域全体の底上げに貢献する。

研究項目C01は、古代の都市文明が、中世から現代にいたる西アジア都市の伝統においてどのように継承され、またどのように変容していったのかを解明し、現代西アジア都市の諸相や社会的課題を分析する。

これら4つの研究項目に対応して、考古学、文献学、自然科学、エジプト学、イスラーム学、西アジア史学、都市計画学、都市社会学、文化遺産学等の研究者が参画して組織された6つの計画研究（1.「西アジア先史時代における生業と社会構造」、2.「古代西アジアにおける都市の景観と機能」、3.「古代エジプト都市の景観と構造」、4.「古代西アジアをめぐる水と土と都市の相生・相克と都市鉱山の起源」、5.「中世から近代の西アジア・イスラーム都市の構造に関する歴史学的研究」、6.「現代イスラーム世界の都市空間の重層性に関する計画論的研究」）を組織した。本研究課題は、これら6つの計画研究の活動を助け、異なる計画研究間の協働を促し、ともに「西アジア都市にみる都市の本質」について議論する場を提供して、領域全体の研究を統括するとともに、総論を導くべく司令塔としての役割を果たすことを目的とする。

### 3. 研究の方法

(1) 上述の6つの計画研究班の研究代表者と領域代表、ならびに研究代表者と領域代表が選んだ数名の研究者によって総括班を組織し、定期的に総括班会議を開き、西アジアとその周辺における都市の誕生、変容、社会的機能、多様性を学際的方法で通時的・共時的に研究するための計画を策定する。そして、作成された計画に沿って、総括班が設置する事務局を通じて、各計画研究の研究・調査活動、研究会実施のための便宜をはかり、事務手続きのサポート、機材の共有についての調整、広報活動などを行う。また6つの計画研究メンバー全員が参加する全体研究会と会議を随時開催することで、領域全体としてメンバーが協力し、学術的な視野を広げ、学際的に西アジア都市の姿を研究、理解できるように努める。



(2) 領域全体の学術的視野をさらに広げ、領域研究を質的・量的に補足するために公募研究が設けられているが、この公募研究の内容を策定し、それを計画研究と連動させ、全体研究会や年次報告書への参画を促し、領域研究が目指す目的の中に融合させることも行った。

### 4. 研究成果

(1) 研究会とシンポジウム：5年間の活動期間中に6つの計画研究において合計118回の研究会が行われ、領域全体研究会は16回開催され、これらには多数の外国からの研究者の参加もあった。計画研究会のすべてを総括班がサポートして広報や事務手続きの便宜をはかり、領域全体研究会を企画、実施した。活動期間中、2020年の年頭から2023年の春まで新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延もあり、対面での活動が難しくなる中、オンラインによる会議や研究会も導入して活動の継続をはかった。当初2022年に対面で行うべく計画した国際シンポジウムは、開催を延期して2023年6月2-4日につくば国際会議場で実施した。海外（スイス、アメリカ合衆国、カナダ、フランス、スペイン、イラン、トルコ、エジプト、オーストラリア）から考古学、楔形文字学、エジプト学、都市計画学、西アジア地域研究、文化財学、地学、地理学などの専門家を招聘して行われたこのシンポジウムは、総括班を中心に組織され、3日間にわたり、国内外の研究者の研究発表と活発な議論が行われた。

(2) 年次報告書と出版事業：総括班の主導により、年度ごとの計画研究における諸研究を収録する年次報告書「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 研究成果報告書（5巻、2018年度～2022年度；各232頁、303頁、345頁、320頁、305頁）をそれぞれ年度末に刊行した。

(3) 学術的成果の概要：領域研究の特徴は、「都市とは何か」という問題を、地球上最も早く都市文明が生まれ発展した西アジア地域に焦点をあて、先史時代から現在までをカバーする長射程で、様々な視点から複眼的に考察することにある。「都市とは何か」という問いへの答えは、考古学、建築学、社会学、歴史学といった一分野の観点から特定の都市・地域・時代をモデルに



「都市」の定義を試みることは得られない。定義付けという行為は、分野優先的・ドグマ的な性格を持っており、分野や研究者ごとに異なる定義が提案される。様々な定義は、都市の特徴を一局面において端的に言い当てるが、都市という現象の一面を捉えているに過ぎず、「都市の本質」を必ずしも十分に説明しない。本領域研究によって行われた多分野協働による長射程の都市研究は、こうした課題を克服し「都市文明の本質」に迫るおそらく唯一の方法であると思われる。本領域研究は、古代から現代まであまたある都市を構成する建築学的・社会的要素を比較格子のなかに捉え、その多様な形態とその背景となる自然・歴史・政治・宗教・社会との関係を理解し、**都市の生成・変容・没落のパターンを把握することが、「都市の本質」を理解するという**ことにほかならないことを明示した。歴史的に連続する容態として西アジアに追跡される「都市の本質」は、本領域研究において諸分野で実施された多くの個別研究で分析され、学際的・分野横断的研究会やシンポジウムを通して論じられた。それは、おおよそ以下のように要約される。

「複雑社会から都市へ」：紀元前 3500～3200 年ころ周囲の村落の人口を吸収してメソポタミア南部で誕生した人類最古の都市ウルクでは、多様な職業や社会階層の人々が、祭祀を共通の精神的支柱として集住し、複雑社会を管理する行政と情報管理手段としての書字技術を発達させ、都市民の生命と財を守る城壁を設けて都市を形成した。さらに、我々の領域研究の長射程では、都市に先行する複雑社会の発生もまた研究された。紀元前 1 万年前後、南東アナトリアやメソポタミア北部の農業社会誕生以前の狩猟採集社会において、集落中に公共建築物を造営する集落構造や、集落から独立した大規模な祭祀施設の建設が確認される。このことは、祖先礼拝や何らかの神格を中心に集合する精神的エネルギーが、集落や集落ネットワークの形成に果たした役割の重要性を示唆する。

こうした様態が、その後の南メソポタミアでの都市の成立にどの程度の直接・間接の影響を与えたかを論じるにはなお「失われた環」を埋める新データの発見が必要である。それでもなお、南メソポタミアにおいても最古期の都市遺構の層の下には、以前の時代から神殿と見なし得る祭祀施設が建設されていたことを考慮すると、K. Wittfogel が提唱した灌漑農業のための労働力集中の要請が中央政権と都市を生んだという学説に反して、宗教儀礼が都市形成に果たした役割の重要性が示唆される。

「都市の多様化と変容」：平坦な沖積平野の河川沿いに築かれ、神殿構築物を中心に市域が広がり、行政組織によって都市とその周辺の住民が統合され、都市域を城壁が取り巻いて防備する典型的メソポタミア都市のプランは、神殿が都市の中央権力として行財政の中心であった南メソポタミアの伝統的の神殿都市においては、その後も長期にわたり維持された。しかし西アジア各地では、異なる地理的・政治的・社会的環境において、都市プランや建築学的特徴においても、政治的・社会的役割においても、様々な特徴を持つ都市が建設されていった。

都市は時代の変遷と共に変容し、あるものは破壊され、放棄されたが、シリアのアレッポやダマスカス、イラク・クルディスタンのエルビルのように、前 3～2 千年紀から現在まで途切れることなく変容を重ねながら生存している都市もある。都市の歴史的変容には、大きな中央権力を持つ領域国家の出現・盛衰や行政経済ネットワークの発達・変化が大きな影響を与え、変わりゆく地理的・歴史的環境の中、宗教文化的・政治的・経済的機能とその重要性、面積と人口密度の大小、人口構成要素・言語・文化とその多様性、交通ネットワーク上の位置、経済的重要性などの要因によって様々な性格・形状・規模の都市が形成された。そして、変化する環境とともに、都市の伝統的古層を内部に包含しつつ新しい建築学的特徴が上塗りされて、重層的な都市景観が形成されていった。したがって、都市とその遺構は、その都市が生まれ変容していった歴史と文化を重層的に包含する歴史の鏡であり、都市景観は、時代をリードした都市を核とする政治・経済・社会・文化を反映して形成されたことが、多くの具体的事例を通して確認された。その成果を、5 巻一組の英語の書籍（上記、4-5）として編集し、公刊する準備も完了した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計107件（うち査読付論文 30件 / うち国際共著 11件 / うちオープンアクセス 10件）

1. 著者名 Yamada Shigeo	4. 巻 1
2. 論文標題 To Be Assyrian Residents: A reflection on the integration of the subjugated people into the Assyrian Empire	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Neo-Assyrian King as a nodal point of Neo-Assyrian Identity, Kasion 8	6. 最初と最後の頁 273 ~ 294
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiyama Shin'ichi, Yamada Shigeo	4. 巻 113
2. 論文標題 Nabu at the Frontiers of the Assyrian Empire: An Inscribed Bronze Necklet from Yasin Tepe, Iraqi Kurdistan	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Zeitschrift fuer Assyriologie und vorderasiatische Archaeologie	6. 最初と最後の頁 250 ~ 265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 4
2. 論文標題 イスファハーンの歴史的墓地にみる都市と墓地の空間構造	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市文明の本質 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 205 ~ 216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 5
2. 論文標題 イスファハーンの聖者廟 1924年市街図の「イマームザーデ」の分析を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市文明の本質 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 201 ~ 222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morikawa Tomoko	4. 巻 1
2. 論文標題 The Safavid Mission to Siam and the Indian Ocean World in the Late Seventeenth Century	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Connecting the Indian Ocean World: Across Sea and Land	6. 最初と最後の頁 35 ~ 54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Daisuke	4. 巻 1
2. 論文標題 The building enterprises of Assur-ketta-lesir II, king of the land of Mari, and the conflict with the Arameans during the reign of Tiglath-pileser I, king of Assyria	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Kullat tupsarruti	6. 最初と最後の頁 567 ~ 597
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田大輔	4. 巻 5
2. 論文標題 古代メソポタミア都市の伝統と景観に関する覚書2: アッシュルナツィルパル二世による新都カルフの祭儀政策	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 75 ~ 83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuneki, A., Watanabe, N., Anma, R., Jammo, S., Saitoh, Y., Ahmad, S.	4. 巻 44
2. 論文標題 Preliminary report of the Charmo (Jarmo) Prehistoric investigations	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Al-Rafidan	6. 最初と最後の頁 1 ~ 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuneki, A., Saber, S. A., Watanabe, N., Anma, R., Jarmo, S., Makino, M., Miyuchi, Y., Lorentz, K. O., Itahashi, Y., Yoneda, M., Kurosawa, M. and Ikehata, K.	4. 巻 45
2. 論文標題 Preliminary report of the Charo (Jarmo) Prehistoric investigations, 2023	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Al-Rafidan	6. 最初と最後の頁 1~47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安間 了・申 基澈・渡辺千香子・辻 彰洋・佐野貴司・齋藤 有・中野孝教・横尾頼子・小泉龍人・Altaweel Mark・Marsh Anke・Hama Hashim・Rasheed Kamal・Jotheri Jaafar	4. 巻 5
2. 論文標題 スレマニ博物館所蔵の楔形文書粘土板胎土の化学組成	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 研究成果報告	6. 最初と最後の頁 147~152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横尾頼子・堀井彩衣・濱口弘平・前田哲弥・メラバニ シバ・安間 了	4. 巻 5
2. 論文標題 イラン7都市の月別降水の主要イオン組成	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 研究成果報告	6. 最初と最後の頁 163~168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Odaka T., Maeda O., Shimogama K., Hayakawa Y.S., Nishiaki Y., Mohammed, N.A. and Rasheed, K.	4. 巻 1
2. 論文標題 Late Prehistoric Investigations at Shakar Tepe, the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: Preliminary Results of the First Season (2019)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Proceedings of the 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East	6. 最初と最後の頁 415~428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maeda, O., Carter T. and Moir, R.	4. 巻 1
2. 論文標題 Change and Continuity in the Lithic Industry of Hasankeyf Hoyuk, a Late 10th Millennium cal. BC Site on the Upper Tigris	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Tracking the Neolithic in the Near East. Lithic Perspectives on Its Origins, Development and Dispersals	6. 最初と最後の頁 453 ~ 468
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara Kosuke	4. 巻 5
2. 論文標題 An examination of the three districts in Algiers by Fernand Pouillon as Moorish architecture: Research on dwelling practice around the "bidonville (shantytown)" project in Algiers during the Late Colonial Period, Part 2	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JAPAN ARCHITECTURAL REVIEW	6. 最初と最後の頁 458 ~ 473
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsubara Kosuke	4. 巻 4
2. 論文標題 The Project for the Reconstitution of Hellenistic Infrastructure as Suggested by the 1968 Master Plan for Damascus	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 CITIES IN EVOLUTION Diachronic Transformations of Urban and Rural Settlements Proceedings	6. 最初と最後の頁 177 ~ 192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Yoko, Kawahara Kazuki, Takashima Miho, Cotte Marine, Mazurek Joy, Kumazawa Yuki, Taga Yuki, Nakazawa Takashi	4. 巻 12
2. 論文標題 Organic Materials Used for Giant Buddhas and Wall Paintings in Bamiyan, Afghanistan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Applied Sciences	6. 最初と最後の頁 9476 ~ 9476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/app12199476	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Ahmed Sallam, Mona F. Ali, Yoko Tanigushi, Sayed Hemeda, Ezz A. Orabi	4. 巻 1
2. 論文標題 Techniques for Characterization of Roman Over-Paintings at Luxor Temple	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Current Approaches, Solutions and Practices in Conservation of Cultural Heritage	6. 最初と最後の頁 263 ~ 272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.26650/B/AA9PS34.2024.006	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Yoko	4. 巻 1
2. 論文標題 Archetype Publications	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Byzantine Cappadocia	6. 最初と最後の頁 133 ~ 143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅裕	4. 巻 1
2. 論文標題 西アジア新石器時代における社会システムの転換	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 岩波講座世界歴史 2 古代西アジアとギリシア ~ 前1世紀	6. 最初と最後の頁 147 ~ 164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hongo, H., Arai, S., Gundem, C. Y. Miyake, Y.	4. 巻 1
2. 論文標題 Faunal remains from Salat Cami Yanu: An Early Pottery Neolithic site in the Upper Tigris Valley	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Animals and Humans through Time and Space: Investigating Diverse Relationships	6. 最初と最後の頁 201 ~ 211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kondo, O., Tashiro, M. and Y. Miyake	4. 巻 130
2. 論文標題 Human skeletal remains from Hasankeyf Hoyuk, a sedentary hunter-gatherer site in southeast Anatolia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Anthropological Science	6. 最初と最後の頁 121 ~ 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Nozomu	4. 巻 1
2. 論文標題 The Lioness Goddess Statuary from the Rock-Cut Chambers at Northwest Saqqara and Their Cult in Middle Kingdom Egypt	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Women and Religion in the Ancient Near East and Asia	6. 最初と最後の頁 303 ~ 338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Nozomu	4. 巻 1
2. 論文標題 Neferneferuaten from the Tomb of Tutankhamun Revisited	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Wonderful Things: Essays in Honor of Nichoas Reeves	6. 最初と最後の頁 109 ~ 122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5913/2023917.12	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Nozomu	4. 巻 9
2. 論文標題 The Time of Tutankhamun. What New Evidence Reveals	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scribe: The Magazine of the American Research Center in Egypt	6. 最初と最後の頁 44 ~ 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 55
2. 論文標題 Names of Walls, Gates, and Palatial Structures of Assyrian Royal Cities: Contents, Styles, and Ideology	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 87 ~ 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daisuke Shibata, Shigeo Yamada	4. 巻 1
2. 論文標題 Calendars of the Land of Hana and the Middle Assyrian Land of Mari in the Second Millennium BC	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 D. Shibata and S. Yamada (eds.), Calendars and Festivals in Mesopotamia in the Third and Second Millennia BC	6. 最初と最後の頁 165 ~ 199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田重郎	4. 巻 4
2. 論文標題 付記：古代メソポタミア都市 三浦徹先生のご講演をうけて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究 (研究領域提案型) 平成30年度 ~ 34年度「都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 309 ~ 315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KONDO OSAMU, TASHIRO MEGUMI, MIYAKE YUTAKA	4. 巻 130
2. 論文標題 Human skeletal remains from Hasankeyf Hoeyuek, a sedentary hunter-gatherer site in southeast Anatolia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Anthropological Science	6. 最初と最後の頁 121 ~ 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1537/ase.220122	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三宅裕	4. 巻 23
2. 論文標題 西アジア先史時代における貝製装身具 - その起源から先土器新石器時代まで -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 西アジア考古学	6. 最初と最後の頁 1 ~ 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅裕	4. 巻 29
2. 論文標題 ティグリス川上流域の新石器時代 - ハッサンケイフ・ホユック遺跡とウルス・ダム水没地域の調査 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第29回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 93 ~ 96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Osamu Maeda	4. 巻 57
2. 論文標題 Quminas in 1981: Excavations of a Late PPNB to Pottery Neolithic Settlement in Northwest Syria	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 70 ~ 92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nouri Fatemeh, Azizi Hossein, Asahara Yoshihiro, Whattam Scott A., Tsuboi Motohiro, Mohammad Yousif Osman, Minami Masayo, Anma Ryo	4. 巻 404-405
2. 論文標題 Coexistence of two types of Late Paleocene adakitic granitoid, Soursat complex, NW Iran	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Lithos	6. 最初と最後の頁 106438 ~ 106438
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lithos.2021.106438	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nouri Fatemeh, Reza Davoudian Ali, Allen Mark B., Azizi Hossein, Asahara Yoshihiro, Anma Ryo, Shabanian Nahid, Tsuboi Motohiro, Khodami Mahnaz	4. 巻 362
2. 論文標題 Early Cambrian highly fractionated granite, Central Iran: Evidence for drifting of northern Gondwana and the evolution of the Proto-Tethys Ocean	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Precambrian Research	6. 最初と最後の頁 106291 ~ 106291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.precamres.2021.106291	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 常木 晃・渡部展也・安間 了・板橋 悠・宮田佳樹・若狭 幸・サーリ ジャンモ・サーベル アハマド サーベル	4. 巻 1
2. 論文標題 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 - イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査 (2021年)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第29回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 32 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 下岡順直・安間 了・Jaafar Jotheri・中川清隆・長島秀樹・平田英隆	4. 巻 4
2. 論文標題 Tell Umm al-Aqaribの三日月型砂丘のルミネッセンス年代測定と風向風速解析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 研究成果報告2021年度	6. 最初と最後の頁 173 ~ 185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒澤正紀・池端 慶・安間 了・西山伸一	4. 巻 4
2. 論文標題 ヤシン・テベ遺跡出土の腐食青銅片の鉱物・化学的特徴	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 研究成果報告2021年度	6. 最初と最後の頁 195 ~ 204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 1. 守川知子	4. 巻 1
2. 論文標題 イスラーム教の聖地巡礼とその多層性 日本の巡礼との比較研究に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本宗教史2 世界のなかの日本宗教	6. 最初と最後の頁 121 ~ 144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 1011
2. 論文標題 隔離される巡礼者たち シーア派聖地巡礼と検疫制度の近代	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 26 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 36
2. 論文標題 アジアの“ねずみ”をめぐる文化誌	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BIOSTORY	6. 最初と最後の頁 46 ~ 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 1
2. 論文標題 イスファハーンは世界の半分？	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市からひもとく西アジア 歴史・社会・文化	6. 最初と最後の頁 194 ~ 215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 守川知子	4. 巻 1
2. 論文標題 聖都アルダビールとサファヴィー朝下のサフィー廟	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アジア・アフリカ言語文化研究 別冊	6. 最初と最後の頁 213～230
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 4
2. 論文標題 イスファハーンの歴史的墓地にみる都市と墓地の空間構造	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 新学術領域研究『都市文明の本質 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究4』研究成果報告2021年度	6. 最初と最後の頁 205～216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴田大輔	4. 巻 64
2. 論文標題 新都カルフにおける神殿祭儀の創設	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 オリエント	6. 最初と最後の頁 265～265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sallam, Ahmed, Taniguchi, Yoko, Eid, Haitham, Khodary, Farag, Ebnalwaled, A. A., Ali, Mona F., Hemedat, Sayed	4. 巻 1
2. 論文標題 Non-Destructive Technique for Sandstone Diagnostics and Conservation in Avenue of the Sphinxes in Luxor: Case Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Design Engineering	6. 最初と最後の頁 722～730
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高嶋美穂; 阿部善也; 寺島 海; 高橋香里; 村串まどか; 谷口 陽子	4. 巻 25
2. 論文標題 美術作品に対する自然科学的調査 非接触調査法を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国立西洋美術館研究紀要	6. 最初と最後の頁 23 ~ 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoko Taniguchi	4. 巻 1
2. 論文標題 Materials and Technologies of the Bamiyan Wall Paintings	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Conservation and Painting Techniques of Wall Paintings on the Ancient Silk Road	6. 最初と最後の頁 177 ~ 195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoko Taniguchi, Michiyo Mori	4. 巻 1
2. 論文標題 On Painting Materials, Techniques, and the Conservation of Wall Paintings Across Eurasia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Conservation and Painting Techniques of Wall Paintings on the Ancient Silk Road	6. 最初と最後の頁 17 ~ 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤二郎、河合望	4. 巻 4
2. 論文標題 「古代エジプトにおける都市の景観と構造」2021年度活動報告	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 研究成果報告2021年度	6. 最初と最後の頁 123 ~ 140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamada Shigeo	4. 巻 8
2. 論文標題 The conquest and reorganization of the land of Zamua / Mazamua in the Assyrian Empire	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Studia Chaburensia	6. 最初と最後の頁 167 ~ 193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.13173/9783347114776_167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三宅 裕	4. 巻 -
2. 論文標題 初期定住集落の姿を探る—トルコ、ハッサンケイフ・ホユックにおける発掘調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 第28回西アジア発掘調査報告会発表要旨集	6. 最初と最後の頁 54 ~ 58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Nozomu, Yasushi Okada, Takeshi Oishi, Masataka Kagesawa, Akiko Nishisaka, Hussein Kamal	4. 巻 4
2. 論文標題 The Ceremonial Canopied Chariot of Tutankhamun (JE61990 and JE60705): A Tentative Virtual Reconstruction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 CIPEG Journal: Ancient Egyptian & Sudanese Collections and Museums	6. 最初と最後の頁 1 ~ 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawai Nozomu	4. 巻 18
2. 論文標題 Exploring the New Kingdom Tombs at North Saqqara: A Brief Report on the Archaeological Survey from 2016 to 2017	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Saqqara Newsletter	6. 最初と最後の頁 1 ~ 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jiro Kondo, Nozomu Kawai et al.	4. 巻 27
2. 論文標題 Preliminary Report on the Thirteenth Season of the Work at al-Khokha Area in the Theban Necropolis by the Waseda University Egyptian Expedition	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Egyptian Studies	6. 最初と最後の頁 3~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤二郎、河合 望 他	4. 巻 27
2. 論文標題 第13次ルクソール西岸アル=コーカ地区調査概報	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 エジプト学研究	6. 最初と最後の頁 18~35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Carter Tristan, Moir Rose, Wong Todd, Campeau Kathryn, Miyake Yutaka, Maeda Osamu	4. 巻 574
2. 論文標題 Hunter-fisher-gatherer river transportation: Insights from sourcing the obsidian of Hasankayf Hoyuk, a Pre-Pottery Neolithic A village on the Upper Tigris (SE Turkey)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 27~42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2020.09.045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Campbell Stuart, Healey Elizabeth, Maeda Osamu	4. 巻 33
2. 論文標題 Profiling an unlocated source: Group 3d obsidian in prehistoric and early historic near East	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science: Reports	6. 最初と最後の頁 102533~102533
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jasrep.2020.102533	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Odaka, T., Maeda, O., Shimogama, K., Hayakawa, Y.S., Nishiaki, Y., Mohammed, N.A. and Rasheed, K.	4. 巻 20
2. 論文標題 Late Neolithic in the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: New Excavations at Shakar Tepe	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neo-Lithics	6. 最初と最後の頁 53 ~ 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Azizi Hossein, Asahara Yoshihiro, Minami Masayo, Anma Ryo	4. 巻 200
2. 論文標題 Sequential magma injection with a wide range of mixing and mingling in Late Jurassic plutons, southern Ghorveh, western Iran	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Asian Earth Sciences	6. 最初と最後の頁 104469 ~ 104469
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jseaes.2020.104469	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安間 了・西山伸一・三宅 裕・常木 晃・横尾頼子	4. 巻 3
2. 論文標題 肥沃な三日月地帯北縁部に分布する新石器時代-鉄器時代遺構の堆積物柱の元素濃度	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究研究成果報告2020年度	6. 最初と最後の頁 195 ~ 204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黒澤正紀・池端 慶・安間 了	4. 巻 3
2. 論文標題 ヤシン・テベ遺跡の石室内の金属濃集堆積物の分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究研究成果報告2020年度	6. 最初と最後の頁 205 ~ 215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 -
2. 論文標題 イスラーム教の聖地巡礼とその多層性 日本の巡礼との比較研究に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本宗教史2 世界のなかの日本宗教	6. 最初と最後の頁 121 ~ 144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 3
2. 論文標題 職人のまちイスファハーン 19世紀の手工業者一覧にみる伝統産業	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市文明の本質 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 3	6. 最初と最後の頁 255 ~ 265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ALKAZEI Allam; MATSUBARA Kosuke	4. 巻 -
2. 論文標題 Post-conflict reconstruction and the decline of urban vitality in Downtown Beirut	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Planning Studies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsubara Kosuke	4. 巻 3-4
2. 論文標題 A shift from "habitat pour le plus grand nombre" to "habitat evolutif" in post war francophonie: A study on the history of international and regional exchange activity of ATBAT(Atelier des Batisseurs)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Japan Architectural Review	6. 最初と最後の頁 601 ~ 614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Taniguchi Yoko	4. 巻 -
2. 論文標題 Cultural Identity and the Revival of Values After the Demolishment of Bamiyan 's Buddhist Wall Paintings	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Future of the Bamiyan Buddha Statues	6. 最初と最後の頁 51 ~ 70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-51316-0_4	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 谷口陽子	4. 巻 3
2. 論文標題 カッパドキア遺跡・凝灰岩製の石窟群の保全とその課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 研究成果報告2020年度 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 337 ~ 340
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Neo-Assyrian Trading Posts on the East Mediterranean Coast and " Ionians " : An Aspect of Assyro-Greek Contact	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa	6. 最初と最後の頁 221 ~ 235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 sal(a)hum in the Old Babylonian Letters and the Urban Landscape of Upper Mesopotamia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sur l ' art, sur l ' histoire et sur la vie:écrits, notes et pensees offerts a Olivier Rouault	6. 最初と最後の頁 38 ~ 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Sim'alites at Tabatum and the Origin of the Kingdom of the 'Land of Hana'	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 De l'argile au numerique: Melanges assyriologiques en l'honneur de Dominique Charpin	6. 最初と最後の頁 1189 ~ 1207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 29
2. 論文標題 Chronographic Styles and the Sense of Chronology in the Neo-Assyrian Royal Inscriptions	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Writing Neo-Assyrian History: Sources, problems and approaches, SAAS 29	6. 最初と最後の頁 161 ~ 181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 55
2. 論文標題 Names of Walls, Gates, and Palatial Structures of Assyrian Royal Cities: Contents, Styles, and Ideology	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 87 ~ 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅 裕、千本真生、石田温美、田代恵美、板橋 悠	4. 巻 -
2. 論文標題 葬制からみる西アジア先土器新石器時代の社会ーハッサンケイフ・ホユック遺跡の事例からー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界と日本の考古学ーオリーブの林と赤い大地ー	6. 最初と最後の頁 3 ~ 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅裕	4. 巻 21
2. 論文標題 特集：北西シリアの新石器時代－筑波大学の西アジア調査から－ 総論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 西アジア考古学	6. 最初と最後の頁 81～82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅裕	4. 巻 21
2. 論文標題 「農耕牧畜の時代」の狩猟具－新石器時代の尖頭器をめぐって－	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 西アジア考古学	6. 最初と最後の頁 125～136
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三宅裕	4. 巻 -
2. 論文標題 新石器時代のシンボリズム ハッサンケイフ・ホユック遺跡出土資料を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市文明の本質：研究成果報告2019年	6. 最初と最後の頁 13～20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤二郎	4. 巻 -
2. 論文標題 エジプト古王国時代の巨大ピラミッド	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本の古墳はなぜ巨大なのか：古代モニュメントの比較考古学	6. 最初と最後の頁 6～19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤二郎	4. 巻 -
2. 論文標題 アメンヘテプ4世のテーベの王墓	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 オシリスへの贈物 エジプト考古学の最前線	6. 最初と最後の頁 53～61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤二郎	4. 巻 49
2. 論文標題 エジプト・古都テーベの発掘：第46回大学院史学大会記念講演	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史学論集	6. 最初と最後の頁 1～11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuneki, A., Rasheed, K., Watanabe, N., Anma, R., Tatsumi, Y. and Minami, M.	4. 巻 2
2. 論文標題 Landscape and early farming at Neolithic sites in Slemani, Iraqi Kurdistan: A case study of Jarmo and Qalat Said Ahmadan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 33～51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoko Morikawa	4. 巻 117
2. 論文標題 The Study of West Asian History in Japan: A Historical Review and Recent Developments	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Asiatica (Bulletin of the Institute of Eastern Culture)	6. 最初と最後の頁 63～74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 -
2. 論文標題 近世イランの王都の中のキャラバンサライ 『イスファハーンのキャラバンサライ案内』を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 新学術領域研究 『都市文明の本質 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 2』2019年度報告書	6. 最初と最後の頁 207 ~ 221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 MATSUBARA Kosuke	4. 巻 84
2. 論文標題 A SHIFT FROM “HABITAT POUR LE PLUS GRAND NOMBRE” TO “HABITAT ?VOLUTIF” IN POST-WAR FRANCOPHONIE	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1473 ~ 1483
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.1473	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松原 康介	4. 巻 54
2. 論文標題 ダマスカス1968年計画におけるヘレニズム基盤の再構築事業	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 630 ~ 637
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.54.630	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前田 修	4. 巻 21
2. 論文標題 レヴァント地方における新石器化プロセスの多様性 黒曜石交易からの視点	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 西アジア考古学	6. 最初と最後の頁 117 ~ 124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前田 修	4. 巻 -
2. 論文標題 石器の加熱処理にみる先史時代の技術運用 西アジア新石器時代の事例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界と日本の考古学 オリーブの林と赤い大地	6. 最初と最後の頁 19 ~ 33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Maeda, O. and C. Pappi,	4. 巻 -
2. 論文標題 Bladelet production by pressure-flaking at the Proto-Neolithic site of Satu Qala in Iraqi-Kurdistan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Near Eastern Lithic technologies on the move. Interaction and Contexts in Neolithic Traditions	6. 最初と最後の頁 249 ~ 256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Taniguchi, Yoko; Iba, Chiemi; Koizumi, Keigo; Temur, Hatice; Yalcinkaya, Ugur; Acikgoz, Fazil; Gulyaz, Murat	4. 巻 3
2. 論文標題 Scientific Research for Conservation of Rock hewn church, Uzumlu (Cappadocia) in 2006	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chapel of Niketas the Stylitis in Red Valley 36. Research Results Meeting	6. 最初と最後の頁 515 ~ 532
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 谷口陽子	4. 巻 -
2. 論文標題 破壊されたパーミヤーン遺跡の再生と文化的アイデンティティ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界と日本の考古学 オリーブの林と赤い大地	6. 最初と最後の頁 515 ~ 532
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 山田重郎	4. 巻 26
2. 論文標題 ネブカドネザルとバビロン	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 聖書の世界	6. 最初と最後の頁 3~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 9
2. 論文標題 Neo-Assyrian Eponym Lists and Eponym Chronicles: Contents, stylistic variants and their historical-ideological background	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 S. Fink and R. Rollinger (eds.), Conceptualizing Past, Present and Future. Proceedings of the Ninth Symposium of the Melammu Project	6. 最初と最後の頁 75~96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Neo-Assyrian Trading Posts on the East Mediterranean Coast and " Ionians: An Aspect of Assyro-Greek Contact	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa	6. 最初と最後の頁 221~235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirotoshi Numoto, Daisuke Shibata, Shigeo Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Excavations at Tell Taban.: Culture and history at Tabatum/Tabetu during the second millennium B.C.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 S. Nishiyama and J. Abdul Massih (eds.), Archaeological Explorations in Syria 2000-2011: Proceedings of International Syrian Congress on Archaeology and Cultural Heritage	6. 最初と最後の頁 133~144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 34
2. 論文標題 移葬の心性史 シーア派イスラーム社会における死者の聖地巡礼	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 比較文明	6. 最初と最後の頁 27～44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 -
2. 論文標題 近世西アジア社会における「異教徒」と宗教的社会変容	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2018年度大学研究助成 アジア歴史研究報告書	6. 最初と最後の頁 135～155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 守川知子	4. 巻 -
2. 論文標題 サファヴィー朝下のイスファハーンと新ジュルファー 近世西アジア都市の非ムスリム街区	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 新学術領域研究『都市文明の本質 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究1』	6. 最初と最後の頁 163～172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ulucam, A. and Yutaka Miyake	4. 巻 -
2. 論文標題 Excavations at Hasankeyf Hoyuk, southeast Anatolia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Batman Museum Ilisu Dam Excavations	6. 最初と最後の頁 33～54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Daisuke Shibata	4. 巻 -
2. 論文標題 Middle Assyrian Legal Documents of Adad-bel-gabbe II, King of the Land of Mari	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Beitrage zur Kenntnis und Deutung altorientalischer Archivalien: Festschrift für Helmut Freydank zum 80. Geburtstag	6. 最初と最後の頁 409 ~ 437
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki Y., Maeda O., Kannari T., Nagai M., Healey E., Guliyev F., Campbell S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Obsidian provenance analyses at Goeytepe, Azerbaijan: Implications for understanding Neolithic socioeconomies in the southern Caucasus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeometry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/arcm.12457	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Osamu Maeda	4. 巻 -
2. 論文標題 Stone balls from Salat Cami Yani and Hasankeyf Hoyuk, Neolithic sites on the upper Tigris,	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Decades in Deserts: Essays on Western Asian Archaeology in Honor of Sumio Fujii	6. 最初と最後の頁 239 ~ 246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松原康介	4. 巻 5
2. 論文標題 アルジェ・植民都市計画の変遷 -モダニズムの地域性-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市史研究	6. 最初と最後の頁 55 ~ 65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 常木 晃・渡部展也・安間 了・辰巳祐樹・ラウ カリム サリ	4. 巻 -
2. 論文標題 肥沃な三日地帯東部の新石器化 - イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査 (2018年)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第26回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 19 ~ 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安間 了	4. 巻 -
2. 論文標題 西アジアをめぐる水と土と都市の相生・相克と都市鉱山の起源	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2018-2022年度 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究 (研究領域提案型) 都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 127-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安間 了	4. 巻 -
2. 論文標題 イラク国北部Qalat Said Ahmadan出土の黒曜石製石器の化学組成と原産地推定	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2018-2022年度 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究 (研究領域提案型) 都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	6. 最初と最後の頁 149 ~ 154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷口陽子、増田久美、成田朱美、橋爪久人、古賀路子、西坂朗子、Hussein KAMAL、Mahamoud HELMY ABD EL KAWY、Sayed MANSOUR、Eissa ZIDAN	4. 巻 -
2. 論文標題 大エジプト博物館合同修復プロジェクトにおける古王国マスタバ出土壁画Ini-Sneferu-Ishtefの移送と応急処置	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文化財保存修復学会第40回大会研究発表要旨集	6. 最初と最後の頁 224 ~ 225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 藤澤明、Mahamoud HELMY ABD EL KAWY、桐野文良、谷口陽子、西坂朗子、Hussein KAMAL	4. 巻 -
2. 論文標題 大エジプト博物館合同保存修復プロジェクトにおける展示状態の壁画資料を対象とした電磁波レーダー探査による状態調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文化財保存修復学会第40回大会研究発表要旨集	6. 最初と最後の頁 226 ~ 227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 高嶋美穂、苅野茉央、中沢隆、谷口陽子、西坂朗子、アイーサ・ジダン	4. 巻 7
2. 論文標題 クフ王第2 の船出土遺物の有機物質の分析	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 昌平エジプト考古学会紀要	6. 最初と最後の頁 11 ~ 20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤二郎	4. 巻 -
2. 論文標題 ネクロポリス・テーベ研究の地平	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 発見！古代エジプト7つのひみつと最新エジプト研究	6. 最初と最後の頁 64 ~ 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計102件（うち招待講演 20件 / うち国際学会 38件）

1. 発表者名 Yamada Shigeo
2. 発表標題 Dur-Sharrukin: A Reflection on its City Plan and Ideology
3. 学会等名 Conference: Urbanization in the Iron Age Levant and Beyond (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 古代メソポタミア都市の系譜と諸形態
3. 学会等名 シンポジウム「東は東、西は西？ 比較考古学の新視角」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yamada Shigeo
2. 発表標題 Royal hunt and acquisition of wild beasts in Assyrian Royal Inscriptions
3. 学会等名 Rencontre Assyriologique Internationale 68 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kawai Nozomu
2. 発表標題 New excavation at North Saqqara. Revealing the development of funerary landscape through millennia
3. 学会等名 Egyptological Seminar under Tower
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kawai Nozomu
2. 発表標題 Some Remarks on the Locations and Nature of the New Kingdom Cemeteries at North Saqqara
3. 学会等名 Prospect of North Saqqara, The Egypt Exploration Society (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Morikawa Tomoko
2. 発表標題 Isfahan as a Commercial Center of Safavid Persia and the Indian Ocean Trade
3. 学会等名 The World Economic History Congresses (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Morikawa Tomoko
2. 発表標題 From Yerevan to New Julfa of Isfahan Armenian Commercial Networks under the Safavid Empire
3. 学会等名 International Scientific Conference: The Caucasus on the Crossroads of International Trade and Cultural Exchanges (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Morikawa Tomoko
2. 発表標題 Commercial spaces and commodities in 17th century Isfahan: Bazaars and caravanserais in a Safavid cosmopolitan city
3. 学会等名 Sousse Symposium: "Historic cities of Afro-Eurasia, comparing Tunisian and Mashriq cities"
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Morikawa Tomoko
2. 発表標題 Artisans and Handicrafts of 19th century Isfahan: Legacy of Safavid Iran
3. 学会等名 Qajar Round Table: Urban Landscapes in Qajar Iran
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Morikawa Tomoko
2. 発表標題 Mapping Medieval Isfahan: Urban areas, minarets and cemeteries
3. 学会等名 International Workshop: Echoes from the Medieval West Asian Cities (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Morikawa Tomoko
2. 発表標題 Baghdad as a Center of Shi' i Pilgrims in the Nineteenth Century
3. 学会等名 International Workshop: BAGHDAD 756-2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Morikawa Tomoko
2. 発表標題 Shrines, Mausoleums and Cemeteries in Isfahan: A Landscape of a Historical "Islamic" City"
3. 学会等名 Tenth European Conference of Iranian Studies
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 古代メソポタミアの神殿と都市
3. 学会等名 新学術領域研究「西アジア都市」領域全体研究会 (国際学会)
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 Shibata Daisuke
2. 発表標題 Patron deities in Ancient Mesopotamian cities, Cities and Urbanization in West Asia and Egypt, - Shapes, Functions, and Ideology -
3. 学会等名 Tsukuba International Congress Center
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 安間 了・申 基澈・齋藤 有・横尾頼子・渡辺千香子・辻彰洋
2. 発表標題 メソポタミア氾濫原堆積物と粘土板胎土の元素・同位体比分析
3. 学会等名 第2回 人・モノ・自然シンポジウム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 服部 喜嗣・横尾 頼子・濱口 弘平・前田 哲弥・安間 了・S. Mehrabani・申 基澈
2. 発表標題 イラン・イラクにおける降水のイオン組成の地域別特徴
3. 学会等名 第13回同位体環境学シンポジウム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Anma, R., Jotheri, J., Wakasa, S., Shitaoka, Y., Shin, K-C., Sano, T. and Yokoo, Y.
2. 発表標題 Late Quaternary climate changes and sedimentation in the Tigris-Euphrates watersheds: implication in the changing watercourses and early cities
3. 学会等名 Cities and Urbanization in West Asai and Egypt: Shapes, Functions, and Ideology (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 江原輝・松原康介
2. 発表標題 アルジェリア・アンナバ新市街における伝統的商業空間の形成
3. 学会等名 2023年度日本建築学会（近畿）学術講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Matsubara Kosuke
2. 発表標題 The Project for the Reconstitution of Hellenistic Infrastructure as Suggested by the 1968 Master Plan for Damascus
3. 学会等名 Tabliz Ivent MA “ In-Between
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 谷口陽子、成田朱美、高橋香里、柴田みな、菅原裕文、Hatice Y.
2. 発表標題 世界遺産カッパドキア・聖シメオン教会の壁画の保存修復：ヴァンダリズムに対するアプローチ
3. 学会等名 文化財保存修復学会第45回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kei Ikehata, Masanori Kurosawa, Ryo Anma, Shin'ichi Nishiyama, Yoji Arakawa
2. 発表標題 Raman microspectroscopic study of corroded bronze fragments from an Assyrian period tomb at Yasin Tepe, Iraqi Kurdistan and clayey volcanic products from the 7 March 2012 phreatic eruption on Ioto Island, Japan
3. 学会等名 Raman Fest 2023
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Shin'ichi Nishiyama, Masanori Kurosawa, Kei Ikehata
2. 発表標題 Archaeometrical Analyses on the Iron Age material remains excavated from the eastern border zone of the Assyrian Empire: Results from Yasin Tepe, Iraqi Kurdistan
3. 学会等名 Symposium: Cities and Urbanization in West Asia and Egypt - Shapes, Functions, and Ideology
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 黒澤 正紀, 池端 慶, 西山 伸一
2. 発表標題 イラク北東部ヤシン・テペ遺跡出土の青銅腐食片の鉱物学的・化学的特徴
3. 学会等名 日本鉱物科学会2023年年会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Miyake Yutaka
2. 発表標題 Communal buildings and social complexity in the Neolithic Southwest Asia
3. 学会等名 Cities and Urbanization in West Asia and Egypt: Shapes, Functions, and Ideology (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 都市プランとイデオロギー：ドゥル・シャルキンの四角形都市プランの考察
3. 学会等名 日本オリエント学会63回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 The Square-Shaped Assyrian Capital Dur-Sharrukin: Architectural Tradition and Ideological Basis
3. 学会等名 Society of Biblical Literature Meeting, 2021.11.20 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 古代メソポタミア都市の系譜
3. 学会等名 新学術領域全体研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yutaka Miyake
2. 発表標題 The earliest sedentary settlement in the upper Tigris: Hasankeyf Hoyuk and its significance
3. 学会等名 Revisiting the Hilly Flanks: The Epipaleolithic and Neolithic periods in the eastern Fertile Crescent (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三宅裕
2. 発表標題 西アジアにおける複雑な狩猟採集民社会
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第26回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Healey, E, Campbell, S. Maeda, O.
2. 発表標題 Obsidian in the Near East: New Challenges and Future Directions
3. 学会等名 International Obsidian Conference 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Odaka, T., Maeda, O., Shimogama, K., Hayakawa, Y. Nishiaki, Y., Mohammed, N.A., Rasheed, K.
2. 発表標題 Investigating the Late Neolithic in the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: Excavations at Shakar Tepe, the first season (2019)
3. 学会等名 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 守川知子
2. 発表標題 西アジアの“ねずみ”をめぐる文化誌
3. 学会等名 生き物文化誌学会第82回例会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 古代メソポタミアにおける都市と神殿
3. 学会等名 「西アジア都市」領域全体研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 新都カルフにおける神殿祭儀の創設
3. 学会等名 日本オリエント学会第63回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 朝倉一恵・横尾頼子・阪本千尋・北村篤志・金澤康平・安間 了・Mehrabani, S.・申キチヨル
2. 発表標題 イランの降水に含まれる不溶性物質のPb同位体比にみられる地域的特徴
3. 学会等名 第11回同位体環境学シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 黒澤正紀・千本真生・柴田徹
2. 発表標題 ブルガリア南東部の前期青銅器時代のスヴィレングラト・ブランティーテ遺跡から出土した土器の鉱物学的特徴
3. 学会等名 日本地球化学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷口 陽子; 成田 朱美; 高嶋 美穂; 柴田 みな; 高橋 香里; 菅原 裕文; Hatice Yildiz
2. 発表標題 カッパドキア、アギオス・シメオン・スティリティス聖堂(トルコ)の壁画の彩色材料、技法に関する調査
3. 学会等名 日本文化財科学会第38回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷口 陽子; 初井基充; 高嶋美穂; 高橋香里; 荒木臣紀; 宮田将寛; 黒澤正紀; 熊澤雄基; 門叶冬樹
2. 発表標題 アフガニスタンから将来した「ストゥッコ像」の技法材料研究
3. 学会等名 文化財保存修復学会第43回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoko Taniguchi; Kumi Masuda; Sayed Mansour; Mostafa Shehata; Akemi Narita; Michiko Koga; Akiko Nishisaka; Hussein Kamal; Basem Gehad
2. 発表標題 Conservation of the Ini-Sneferu-Ishetef wall paintings from the Old Kingdom: A joint project between Japan and Egypt
3. 学会等名 The 19th ICOM-CC Virtual Triennial Conference, Beijing, 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷口 陽子
2. 発表標題 聖シメオン教会の保存に関するプロジェクト概要
3. 学会等名 新学術科研オンライン研究会 カップパドキア聖シメオン教会の研究
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 被征服民のアッシリア帝国への帰属をめぐる一考察
3. 学会等名 日本オリエント学会第62会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三宅 裕
2. 発表標題 初期定住集落の姿を探る—トルコ、ハッサンケイフ・ホユックにおける発掘調査
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会 令和2年度考古学が語る古代オリエント
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kawai Nozomu
2. 発表標題 Excavating the first Roman catacomb at Saqqara
3. 学会等名 EES Online Lecture, The Egypt Exploration Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河合 望
2. 発表標題 エジプト、サッカラ遺跡での新発見
3. 学会等名 オンライン・シンポジウム「世界の古代文明をめぐる最新調査研究」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤二郎
2. 発表標題 古代エジプト展 天地創造の神話
3. 学会等名 江戸東京博物館講演会(招待講演)
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 前11・10世紀におけるアッシリア王国の衰退
3. 学会等名 都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究3 研究成果報告2020年度
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安間 了
2. 発表標題 pXRFの考古学利用の現状と課題-肥沃の三日月地帯出土の黒曜石原産地推定を例として
3. 学会等名 日本地球化学会第67回年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松原 康介
2. 発表標題 オスマニゼーション：旧フランス領の都市保全と近代化
3. 学会等名 九州大学・秋冬の環境設計グローバル・ハブ連続レクチャー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 成田朱美、谷口陽子、柴田みな、Hatice Yildiz、Ayca Basturkmen
2. 発表標題 世界遺産カッパドキア・聖シメオン教会における保存に向けた調査成果
3. 学会等名 文化財保存修復学会第42回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 D. Shibata and S. Yamada
2. 発表標題 The Building Inscriptions of Assur-ketta-lesir II, "King of the Land of Mari" in the Late Middle Assyrian Period: Their Historical Implications
3. 学会等名 65e Rencontre Assyriologique Internationale, College de France, Paris (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 Names of Walls, Gates and Palatial Structures in Assyrian Royal Cities: Their Contents, Styles and Ideology
3. 学会等名 ASOR Meeting, Westin San Diego (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 'Like that of Assyrians': A reflection on the imposed Assyrian identity over the extended imperial territory
3. 学会等名 Workshop: The Neo-Assyrian King as a nodal point of Neo-Assyrian Identity, University of Helsinki (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 ヤシン・テペ出土ネックレス碑文 文書の詳細とその文献学的・歴史学的分析
3. 学会等名 研究会「アッシリアの属国と属州：テル・タバンの遺跡とヤシン・テペ遺跡の調査成果から」筑波大学文京校舎557
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三宅 裕
2. 発表標題 アナトリアからみる北西シリアの新石器時代
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yutaka Miyake, Yukari Dicle Havzsindaki İlk Yerlesik Yerlesmesi
2. 発表標題 Hasankeyf Hoyuk ve Onun Onemi
3. 学会等名 3. Uluslararası Ilisu Baraji ve HES Projesi Sempozyumu (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yutaka Miyake
2. 発表標題 Complex hunter-gatherers in the Upper Tigris: Latest discoveries at Hasankeyf Hoyuk, southeast Anatolia, Neolithic Anatolia
3. 学会等名 Recent Investigations in Southeast Turkey and the Neighboring Regions (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤二郎
2. 発表標題 エジプトにおける文字記録の抹殺とアレクサンドリア大図書館の焼失 『文化遺産の意図的な破壊 人はなぜ本を焼くのか 』
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアム、政策研究大学院大学想海楼ホール
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jiro Kondo
2. 発表標題 The Tomb of Userhat (TT47) and the Large Rock-cut Tombs in Thebes under the Reign of Amenhotep III and Amenhotep IV
3. 学会等名 International Symposium Thebes under Amenhotep III on September 9 (Monday), at Waseda University, Tokyo (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Anma, R., Shin, K.-C., Watanabe, C., Tuji, A.
2. 発表標題 pXRF analyses on Assyrian sculptures
3. 学会等名 Japan Geoscience Union Meeting 2019, Makuhari, Japan (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横尾頼子・阪本千尋・北村篤志・安間 了・Shiva, M.
2. 発表標題 イラン7都市の降水中に含まれる不溶性物質の鉱物組成と元素組成の地域的特徴
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会, MIS09-02, 2019.5.30 (26-30), 幕張メッセ, 千葉 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoko Morikawa
2. 発表標題 Intermediary Agents Between Europe and Iran: Armenian Merchants in the 17th Century
3. 学会等名 International Conference on Safavid Studies: Cultural Relations of Iran and Europe in the Safavid era, Esfahan University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoko Morikawa
2. 発表標題 From New Julfa of Isfahan to the World: Armenian Trade Network and a Non-Muslim Quarter in a Capital City
3. 学会等名 International Workshop: "Network and Urban Landscape in Historical Perspective, American University in Cairo (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoko Morikawa
2. 発表標題 Abgar Valijanlian and his Life as a Jadid al-Islam: A Shi'ite Armenian in the late seventeenth century
3. 学会等名 Ninth European Conference of Iranian Studies (ECIS9), Freie Universitaet Berlin (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守川知子
2. 発表標題 ジャディード・アル=イスラーム (Jadid al-Islam) として生きたあるアルメニア人改宗者の生涯 個人・家族・国家と近世西アジアの宗教マイノリティ
3. 学会等名 第295回北大東洋史談話会、北海道大学 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守川知子
2. 発表標題 Pilgrimages and Holidays in Global History
3. 学会等名 Workshop: Categories at Work in Global History University of Warwick (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守川知子
2. 発表標題 シーア派イスラーム社会のイマーム崇敬と聖廟巡礼
3. 学会等名 スペイン史学会第41回大会、慶應義塾大学日吉キャンパス
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守川知子
2. 発表標題 シーア派ムスリムのみた17世紀の仏教世界 サファヴィー朝使節団とシャム
3. 学会等名 第43回龍谷大学東洋史学研究会研究大会、龍谷大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守川知子
2. 発表標題 聖都アルダビールとサファヴィー朝 サフィー廟を中心に
3. 学会等名 公開研究会「アルダビール再考：前近代イランにおけるタリーカ・聖者廟・都市」、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松原康介
2. 発表標題 ジョルジュ・キャンディリスの計画論「進化型住宅」における番匠谷堯二の貢献について
3. 学会等名 日本建築学会大会（北陸）学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kosuke Matsubara
2. 発表標題 Islamic Mixed Use of the medina of Fez -A case study of the Guerniz quarter
3. 学会等名 The 1st international conference on Islamic and sustainable innovation of urban and regional planning
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田 修
2. 発表標題 初期農耕社会と気候変動のインパクト
3. 学会等名 日本西アジア考古学会公開シンポジウム「気候変動と古代西アジア - 古気候から探る文化・文明の興亡 - 」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 M. Rose, T. Carter & O. Maeda
2. 発表標題 Hasankeyf Hoyuk: preliminary results of the geochemical sourcing of obsidian from a southeastern Anatolian PPNA site
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 H. Elizabeth, S. Campbell & O. Maeda
2. 発表標題 Big data! Obsidian in the Levant
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 前田 修
2. 発表標題 西アジアの黒曜石交易と石器文化
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷口陽子
2. 発表標題 バーミヤーン仏教壁画の技法と材質分析
3. 学会等名 Daejeon International Symposium on Conservation of Cultural Heritage in East Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷口陽子
2. 発表標題 アギオス・ニキタス・スティリティス聖堂（ウズムル教会）の保存に関する調査成果
3. 学会等名 聖シメオン教会（パシャバー）の保存に関する研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoko Taniguchi
2. 発表標題 Constituent materials and painting techniques of Bamiyan Buddhist wall paintings
3. 学会等名 International Academic Forum on Conservation and Restoration of Artistic Heritage I: Scientific analysis and methods of conservation of Artistic Heritage (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Yoko Taniguchi
2. 発表標題 Scientific analyses on constituent materials of Bamiyan Buddhist wall paintings and painting technology
3. 学会等名 The Internatioal Symposium: the Tibetan Plateau and the Silk Road: Artistic Exchanges between Tibet, Khotan and Dunhuang, 9-13th centuries (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷口陽子
2. 発表標題 世界遺産カッパドキア・ウズムル岩窟教会遺跡における文化遺産の保全に関する包括的研究
3. 学会等名 公益財団法人鹿島学術振興財団 第42回研究発表会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田重郎
2. 発表標題 アッシリアの王都における市壁、門、王宮の名称について
3. 学会等名 第61回シュメール研究会 (立教大学12号館、東京都豊島区)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 Landscape of Tabatum as Seen in the Old Babylonian Letters from Tell Taban
3. 学会等名 64th Rencontre Assyriologique Internationale (University of Innsbruck, Austria) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shigeo Yamada
2. 発表標題 Topographical Terminology in Cuneiform Texts
3. 学会等名 Workshop: The Mesopotamian Landscape Archaeology: Recent Researches in Iraqi-Kursistan (Room 121, Tokyo Campus, University of Tsukuba, 文京区) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守川知子
2. 発表標題 17世紀後半のアルメニア人ネットワーク 二人の商人の軌跡から
3. 学会等名 「近世ユーラシアにおける宗教・交易ネットワークとアルメニア人」東京大学本郷キャンパス法文2号館、文京区
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoko Morikawa
2. 発表標題 An Armenian Merchant Family from New Julfa in the Seventeenth and Early Eighteenth Centuries
3. 学会等名 International Workshop: Maritime Monsoon Asia in the Early Modern Period: Global Trade and Early European Colonial Cities, (18-)19 January 2019, The University of Tokyo 文京区 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yutaka Miyake
2. 発表標題 Early Neolithic Society in the Upper Tigris: New Insights from the Excavations at Hasankeyf Hoyuk
3. 学会等名 Cultural Messengers of Turkey (Ankara, Turkey) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三宅 裕
2. 発表標題 石器のシンボリズム：新石器時代の尖頭器をめぐって
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第23回大会（金沢大学、石川県）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Daisuke Shibata
2. 発表標題 A Middle Assyrian Manuscript of a Therapeutic Treatise: "Prescriptions of Adapa"
3. 学会等名 64th Rencontre Assyriologique Internationale (University of Innsbruck, Austria)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴田大輔
2. 発表標題 古代メソポタミアの王権：神々、王、知識人
3. 学会等名 日本オリエント学会第60回大会 / 第321回公開講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Maeda, O., S. Campbell and E. Healey
2. 発表標題 Obsidian in the Levant: New provenance studies
3. 学会等名 The 24th Annual Meeting of the European Association of Archaeologists "Reflecting Futures" (University of Barcelona, Barcelona, Spain) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前田修
2. 発表標題 クルディスタン原新石器時代における押圧剥離石刃製作の開始について
3. 学会等名 日本オリエント学会第60回大会（京都大学、京都市）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安間 了
2. 発表標題 水路堆積物および粘土板胎土にみるメソポタミアの都市鉱山化
3. 学会等名 文化地質研究会（大谷大学、京都市）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安間 了
2. 発表標題 古代西アジアをめぐる水と土と都市の相生・相克と都市鉱山の起源
3. 学会等名 2018年度活動報告 新学術領域研究・領域全体研究会（筑波大学東京キャンパス、文京区）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安間 了
2. 発表標題 メソポタミア氾濫源堆積物・粘土製品にみる都市鉱山のあけぼの
3. 学会等名 日本地質学会四国支部総会（徳島大学常三島キャンパス、徳島市）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安間 了
2. 発表標題 pXRF（携帯型蛍光X線分析計）によるアッシリア浮彫石材の非破壊分析
3. 学会等名 渡辺科研研究会（大阪学院大学、吹田市）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安間 了
2. 発表標題 古代西アジアをめぐる水と土と都市の相生・相克と都市鉱山の起源
3. 学会等名 新学術領域研究キックオフ・ミーティング（筑波大学東京キャンパス、文京区）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 安間了・申基澈・横尾頼子・中野孝教・黒澤正紀
2. 発表標題 メソポタミア氾濫源堆積物と粘土板の化学組成・同位体組成にみる都市鉱山のあけぼの
3. 学会等名 地球惑星科学関連学会合同大会（幕張メッセ、千葉市）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 谷口陽子、増田久美、成田朱美、橋爪久人、古賀路子、西坂朗子、Hussein KAMAL、Mahamoud HELMY ABD EL KAWY、Sayed MANSOUR、Eissa ZIDAN
2. 発表標題 大エジプト博物館合同修復プロジェクトにおける古王国マスタバ出土壁画Ini-Sneferu-Ishtefの移送と応急処置
3. 学会等名 文化財保存修復学会第40回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤澤明、Mahamoud HELMY ABD EL KAWY、桐野文良、谷口陽子、西坂朗子、Hussein KAMAL
2. 発表標題 大エジプト博物館合同保存修復プロジェクトにおける展示状態の壁画資料を対象とした電磁波レーダー探査による状態調査
3. 学会等名 文化財保存修復学会第40回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoko Taniguchi
2. 発表標題 Painting techniques and Constituent materials of Bamiyan Buddhist wall paintings
3. 学会等名 International Colloquium on conservation of Asian wall paintings and the painting technology exchange (Tokyo University of the Arts, Tokyo) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoko Taniguchi
2. 発表標題 Constituent materials and painting techniques of Bamiyan Buddhist wall paintings
3. 学会等名 International Academic Forum on Conservation and Restoration of Artistic Heritage I: Scientific analysis and methods of conservation of Artistic Heritage (Guangzhou Academy of Fine Arts, China) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤二郎
2. 発表標題 エジプト・古都テーベの発掘
3. 学会等名 第46回駒澤大学大学院史学会（駒澤大学駒沢キャンパス 3号館、世田谷区）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤二郎
2. 発表標題 調査の経緯と成果の概要
3. 学会等名 エジプト、ルクソール西岸岩窟墓調査報告会2018」、早稲田大学エジプト学研究所、早稲田大学戸山キャンパス、新宿区) (招待講演)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 Nozomu Kawai, Benedict G. Davies	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Abercromby Press	5. 総ページ数 567
3. 書名 The Star Who Appears in Thebes. Studies in Honour of Jiro Kondo	

1. 著者名 ロス・バーンズ(著)松原康介(編訳)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 中央公論美術出版	5. 総ページ数 464
3. 書名 ダマスクス 都市の物語	

1. 著者名 ロス・バーンズ(著)松原康介(編訳)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 中央公論美術出版	5. 総ページ数 400
3. 書名 アレppo 都市の物語	

1. 著者名 Taniguchi Yoko	4. 発行年 2023年
2. 出版社 University of Tsukuba	5. 総ページ数 132
3. 書名 Scientific Studies on Conservation for Saint Simeon Church and Its Wall Paintings in Cappadocia, Turkey: Vol.1 (Report on the activities in 2019 and 2022)	

1. 著者名 Taniguchi Yoko ; Marine Cotte	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Archetype Publications	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Wall Paintings of Bamiyan, Afghanistan: Technology and Materials	

1. 著者名 Daisuke Shibata, Shigeo Yamada	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Harrassowitz Verlag	5. 総ページ数 254
3. 書名 Calendars and Festivals in Mesopotamia in the Third and Second Millennia BC	

1. 著者名 守川知子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 272
3. 書名 都市からひもとく西アジア	



1. 著者名 近藤二郎	4. 発行年 2020年
2. 出版社 エクスナレッジ	5. 総ページ数 159
3. 書名 古代エジプト解剖図鑑	

1. 著者名 Ichiro Nakata, Yoshihiro Nishiaki, Takahiro Odaka, Masamichi Yamada, Shigeo Yamada	4. 発行年 2019年
2. 出版社 The Society for Near Eastern Studies in Japan	5. 総ページ数 280
3. 書名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa	

1. 著者名 守川知子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 46
3. 書名 「あるアルメニア人改宗者の遍歴にみる宗教と近世社会」島田 竜登編 『1683年 近世世界の変容』	

1. 著者名 守川知子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 5
3. 書名 「東西両大国のはざままで オスマン = イラン国境画定に翻弄されるクルド人」山口 昭彦編 『クルド人を知るための55章』	

1. 著者名 松原 康介	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 400
3. 書名 地中海を旅する62章	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究  <a href="http://rcwasia.hass.tsukuba.ac.jp/city/">http://rcwasia.hass.tsukuba.ac.jp/city/</a></p>
---

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	守川 知子 (Morikawa Tomoko) (00431297)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授  (12601)	
研究分担者	河合 望 (Kawai Nozomu) (00460056)	金沢大学・新学術創成研究機構・教授  (13301)	
研究分担者	松原 康介 (Matsubara Kosuke) (00548084)	筑波大学・システム情報系・准教授  (12102)	

## 6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	前田 修 (Maeda Osamu)  (20647060)	筑波大学・人文社会系・准教授  (12102)	
研究分担者	谷口 陽子 (Taniguchi Yoko)  (40392550)	筑波大学・人文社会系・准教授  (12102)	
研究分担者	柴田 大輔 (Shibata Daisuke)  (40553293)	筑波大学・人文社会系・教授  (12102)	
研究分担者	黒澤 正紀 (Kurosawa Masanori)  (50272141)	筑波大学・生命環境系・准教授  (12102)	
研究分担者	三宅 裕 (Miyake Yutaka)  (60261749)	筑波大学・人文社会系・教授  (12102)	
研究分担者	近藤 二郎 (Kondo Jiro)  (70186849)	早稲田大学・文学学術院・教授  (32689)	
研究分担者	安間 了 (Anma Ryo)  (70311595)	徳島大学・大学院社会産業理工学研究部(理工学域)・教授  (16101)	
研究分担者	池端 慶 (Ikehata Kei)  (70622017)	筑波大学・生命環境系・准教授  (12102)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 Symposium: Cities and Urbanization in West Asia and Egypt -- Shapes, Functions, and Ideology	開催年 2023年 ~ 2023年
---	----------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------